

第 66 回「奥多摩・大塚山」春のハイキング

事務局 前田伸博
平成 26 年 4 月 27 日 晴れ

コース：青梅線古里駅～鉄五郎新道～大塚山(920m)～尾根～古里駅…御岳駅(慰労会)

メンバー

- ① ハイカー：8人＝乾さん、磯部さん、石井さん、若林さん、原夫人、山本さん、大井さん、前田
- ② 玉川屋（蕎麦屋）での慰労会のみ：2人＝森山さん、大根田さん

今年になって最初のハイキングは、新緑、天候に恵まれハイキングには最高の日でした。ゴールデンウィークの初日、青梅駅は老若男女でにぎわっています。山ガールも多数。青梅線に乗りこみます。御岳山登山に、人気があり、途中の御岳駅でほとんどの人が下車。車窓からみた駅前は、ハイカーでにぎわっています。二つ先の古里駅で下車する人はまばら、駅のホームで私たちの仲間が、顔を合わせて、改札を出ました。

磯部さんが集合時間に間に合わないとの連絡を受け、後から我々とは、逆のコースで追いかけてくるとのこと。でも、少し心配です。駅前で出発前の集合写真を撮り、磯部さんが欠けて7人で出発です

古里駅前の住宅を横に見ながら、しばらく歩くと大塚山に向かう林道、目に優しい新緑、鶯の鳴き声、クマ蜂が蜜を求めて飛び回っていますこのコースには、行き交うハイカーは全くおりません。良いコースを選択してくれましたと乾さんに感謝しながら、快適に進んで行きました。

しかし、徐々にコースは険しく、急な登りの連続です。歩幅も狭くなり、息づかいも荒くなり、一時間ほど登り、小休止。

さらに、一時間ほど登り、小休止。汗でシャツはビショリです。頂上まであとどれくらい・・・

やっと尾根にでて、少し平らな林の中を前進。さらに山頂をめざすが、山頂は見えません。途中、山の上にNTTの大きなアンテナの建物があり、その横を抜けると、意外にも山頂でした。山頂に着くと、磯部さんが、すでに到着しており、お茶を沸かせてくれております。

山頂には野外テーブルが設置されており、既に2～3組がテーブルを陣取り、昼食をしております。若林さん、山本さんが少し遅れて、到着です。

我々が登ってきたコースは、コースガイドのマップに載っていない、少しハードなコースでしたと、メンバー皆で口々にため息です。

下りは一般登山道です。磯部さんはそこから登り、先に到着していたので

す。

山頂では磯部さんの遅れた理由の談義に花が咲き、石井さんからの冷えたビールの差し入れ、磯部さんが沸かしてくれたお茶を頂き、登りの疲れは吹っ飛びました。昼食で元気をため込み、さて下山です。磯部さんを先頭に、古里駅を目指し下山。ひたすら足元に気を配り歩くのみです。しかし、ここでも体力に差があり、先頭から遅れた人を、登山道入り口で、待つこと暫く・・・全員が集合し古里駅まで、向かいました。

古里駅から予定時刻を過ぎた電車に乗り、御岳駅に到着。御岳駅前の「かやぶき屋根」の蕎麦屋(玉川屋)に集合です。乾さんの「ハイキング同好会幹事退任の慰労会」です。玉川屋は休日とあって、ほぼ満員です。既に、森山さん、大根田さんが着いておられました。

山菜の天ぷら、そば焼酎のそば湯わり、鴨汁そば、おいしい料理をいただきながら、談笑し楽しい時間を過ごしました。